

# デイサービス 日和

## 第12回運営推進会議報告書

管理者 安藤 真由美

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、第12回運営推進会議も  
書面での開催とさせて頂きました。

### 記

#### 1. 参加者：計 9 名

内訳 管理者 安藤 真由美  
生活相談員 滝 真二  
江南市高齢者生きがい課様  
江南中部地域包括支援センター様  
民生委員 荒田様  
利用者代表 佐々木様  
家族代表 鈴木様  
地域代表 後藤様  
地域代表 岩根様

#### 2. 会議の文書を各出席者様に郵送でお送りさせて頂き、ご意見やご質問を賜りました。 ご協力いただきました方々のご意見、ご質問及び回答は以下の通りとなります。

##### ・江南市高齢者生きがい課様よりのご意見

「99歳の目標達成の事例」について、補聴器の新調で、ご本人様の生活の質が格段に向  
上した様子がわかり、大変良かったと思えました。ご家族の理解も必要だと思われま  
すが今後もこのような対応が出来ると素晴らしいと思います。

##### ・江南中部包括支援センター様 からの意見

T様のダンスの目標設定→実現でどれほど嬉しく思われたらうと思って拝見しました。  
良い取り組みを続けてみえますね。

##### ・民生委員 荒田様 からの意見

事故防止・ヒヤリハットについて関心を持ちました。高齢者の生活事故内容に対しての施  
設、家族の対応、そして留意点、今後の対策が記載されています。この記載内容が事故対  
策の指針となるのではないかと考えております。

・家族代表 鈴木様 よりの意見

去年から母が利用し、家族には諦めていた事が今出来ている事をこの運営推進会議資料で知る機会を得ました。

デイサービスでの1日が生き活きと過ごす時間であると思います。

母と孫二人と作品展観賞に行きました。母の作品に驚きました。「お母さんすごいね」と言っても、本人は自分の名前を見ても自分の作品とわからないようでした。

少しがっかりしていると、しばらくすると思い出したようで「あれとあれ、作った。」と言い出して、苦労した話をし始めました。

思い出す事が苦手となっている今、針を持って仕事をしていた昔の事や、料理が得意であった母が包丁を持ってネギを切っている姿に嬉しさいっぱいでした。

出来る事を探して頂き、日和の皆さまに感謝しています。

・地域代表 岩根様 よりの意見

日々の活動の中に、アクセントをつけるように、各教室が開かれたり、クリスマス会、初笑い会のイベント、お楽しみ昼食会など利用者の方が楽しめるように工夫されている事に興味がわきました。

特に活動の中で作りためた作品をギャラリーで展示され、作者はもちろんのことご家族もどんなにか喜ばれたことかと思えます。私も拝見いたしました。皆様の力作に感動いたしました。これまでの人生の中で身に付けられた技能を継続される事で、まだ「できる」という達成感を味わっておられることと嬉しくなります。

特に、事例の中で報告いただいた99歳のT様。住み慣れた土地を離れての生活で戸惑われることも多かったのではないのでしょうか。一歩ずつ生活の質の向上に、職員の方が気を配られている様子を実感いたしました。違う土地で楽しんでこられたフォークダンスを披露され、日和さんでの生活のモチベーションも高くなられたことでしょう。利用者お一人お一人の「できる」を高める支援への心配りに敬服いたしました。

・江南市高齢者生きがい課様 よりの質問

A. 99歳での目標達成をしたT様自身もすごいですが、職員さんたちが日々一人ひとりと向き合って接している姿勢に頭が下がります。

日和さんに通っていることで、T様の生活に楽しみが増えているように思います。

息子さんご夫婦は、ご本人の変化やデイについて意見や感想を何かおっしゃっていますか？

Q. 息子様夫婦は医療関係にお勤めという事もあり、99歳のT様をしっかりサポートされています。自宅での練習にも付き合っているようでした。お嫁様はクリスマス会、初笑い会のT様の出番の時間に合わせてデイに来られて、動画を撮られました。お孫さん、ひ孫さんたちにも見せたそうです。家族の会話が弾んだと聞いております。

自宅でT様自らの会話が増えたと喜んでいらっしゃいました。尾張旭市から97歳で引越してこられ、目も耳も加齢により衰え、他者とのコミュニケーションが取りづらかったのですが、「フォークダンス」や「おてもやん」を披露する事により、他者との距離が縮まったとT様からご家族に具体的なお話があったそうで、大変喜ばれていました。

・ご家族代表 鈴木様 よりの質問

Q. 日和さんから家族にお願いしたいと思われることはありますか？

A. お薬が変更になった時にはお知らせして欲しいです。薬変更により、何らかの心身の変が起る事もあるため、把握させて頂きたいです。

言いづらい事もあるかもしれませんが、自宅で困っている事、悩んでいる事をお話して欲しいと思います。ご家族が精神的に追い込まれ、ギリギリの状態になる前にお話をし頂く事により、早めに解決できる事もあるかもしれません。話をするだけでも楽になる事もありますので、遠慮なくお話して頂ければ幸いです。

・地域代表 岩根 様 よりの質問

Q. コロナ対策にはさぞや、ご心労の事と推察いたします。

高齢者の施設でのクラスターの発生をよく耳に致します。特にオミクロン株が出回ってからは感染力が強く、施設の中だけでは防ぎようもないことと思います。

万が一、感染者、濃厚接触が職員、利用者の方から出た場合の対処は、どのように取り決めておられるのでしょうか？

A. 4月に入ってから、職員が濃厚接触者となりましたので、その時の対応についてご説明をいたします。

4/6（水）職員AはPTA役員として、高校の入学式に参列していた。学校の応接室でPTA役員8名と応接室で弁当を食べた。

4/7（木）職員Aは、9:00~14:00 デイサービスで勤務。

4/7（木）夜、職員Aの隣に座っていたPTA役員がコロナウイルス感染者で、職員Aは濃厚接触者に当たる旨の連絡がある。隣の役員と職員Aはそれぞれ1人かけソファに座っていたが、距離としては1メートル以内であったと、職員Aから管理者に連絡がある。

4/8（金）職員Aは抗原検査とPCR検査を受検する。抗原検査はその場ですぐに「陰性」という結果が出る。PCR検査の結果は翌日に判明。

江南保健所へ連絡したところ

- ・濃厚接触者が江南市民でないため報告は不要  
特に今は介護施設からの報告は必須ではない。
- ・濃厚接触者がコロナウイルス陽性である場合は医療機関から連絡がある。
- ・厚生労働省のガイドラインに従ってくれればよい。
- ・事業所の判断で濃厚接触者の認定、出勤開始について決めてくれればよい。

との返答がある。

職員Aが出勤していた4/7（木）のご利用者とケアマネージャーに次の内容を電話にて行い、連絡記録を文書で残す。

- ・職員Aが濃厚接触者となった事実
- ・デイサービス 日和の建物や介護の特性上、職員Aとご利用者はマスクをお互いに着用していたものの、近い距離で関わっていた
- ・抗原検査は「陰性」
- ・PCR検査の結果は明日連絡
- ・ご利用者の体調観察をお願い
- ・ご利用者や職員に感染疑いがある人がいない限りは営業

以上の内容を伝える。

4/9（土）職員Aより、PCR検査の結果が「陰性」であると連絡がある。

再度、4/7（木）のご利用者、ケアマネージャーに、  
4/9（土）次のように連絡。

- ・PCR検査の結果。今後はガイドラインに沿って、4/11（月）、4/12（火）に再度PCR検査を受ける事
- ・万が一「陽性」の判定が出た場合は速やかに連絡
- ・利用者でコロナウイルス感染疑いのある症状が出た際は、連絡をもらう

職員Aについて

厚生労働省のガイドライン

濃厚接触者であり、社会機能維持者は、最終曝露日（陽性者との接触等）から2日にわたる検査を組み合わせることで、5日目に待機期間が解除可能である。

検査は4日目及び5日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性確認後、5日目から解除が可能である。との文言から

職員Aの最終曝露日	4/6（水）	
1回目の抗原検査・PCR検査	4/7（木）	
2回目のPCR検査	4/11（月）	結果 4/12（火）
3回目のPCR検査	4/12（火）	結果 4/13（水）

症状がなく、陰性であれば、4/14（木）より出勤可能とする。

4/11（月）現在、職員Aに疑わしい症状はなく、利用者、職員においても体調不良者はなし。

以上が今回の事案を時系列で追ったご報告になります。

今回は幸いにも陰性でしたが、コロナウイルス感染者が出た場合の対応としましては、職員が感染した場合は、職員数が少ないこともあり他の職員も濃厚接触者に該当すると思われるので、休業することになっています。

ご利用者様が感染した場合は、感染経路の把握を出来る限り行い、その対応を決定していこうと思っていますので、状況によって対応が変わってくるものと考えています。

どちらにしましても、感染を最小限で食い止め、クラスターにならないような対応を取っていかなくてはいけないと思っておりますので、迅速に対応し、必要関連機関との連携を取り対応していこうと思っております。